

かぜのひきはじめ
に効く漢方薬成分の
葛根湯

熱・のどの痛み
せきに効く
総合かぜ薬

葛根湯と総合かぜ薬成分を
ひとつにしたかぜ薬

コフト® 顆粒

ふたつのかぜ薬成分でかぜに効く



成分 3包中

漢方薬葛根湯の生薬成分と作用 葛根湯エキス2,200mg中 カッコソ…3.83g マオウ…1.91g タイソウ…1.91g ケイヒ…1.43g シャクヤク…1.43g カンゾウ…0.96g ショウキョウ…0.48g 7種類の生薬成分が、かぜのひきはじめに効果を発揮します

総合かぜ薬の成分と作用 アセトアミノフェン…450mg 熱を下げ、のどの痛み・頭痛を治します クロルフェニラミンマレイン酸塩…7.5mg 鼻水・鼻づまり・くしゃみを抑えます ジヒドロコデインリン酸塩…24mg せき中枢に働きせきを止めます ビタミンC…500mg レモン25個分のビタミンCを含みます ビタミンB₂…4mg 卵・牛乳に含まれる栄養成分です グアイフェネシン…250mg たんを出しやすくします 無水カフェイン…90mg のどの痛み・頭痛を治す作用を高める効果があります

添加物 乳糖水和物・ヒドロキシプロピルセルロース・スクラロース・香料

保管及び取り扱い上の注意 (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管して下さい (2) 小児の手の届かない所に保管して下さい (3) 誤用の原因になったり品質が変わることがありますので、他の容器に入れ替えないで下さい (4) 使用期限を過ぎた商品は服用しないで下さい

第②類医薬品

開け口

コフト® 顆粒

12包入
4日分

特長

- かぜのひきはじめに効く漢方薬成分の葛根湯と熱・のどの痛み・せきに効く総合かぜ薬成分をひとつにした顆粒のかぜ薬です
- 漢方薬の葛根湯と総合かぜ薬のふたつのかぜ薬成分の作用で、かぜに効きます
- 配合の総合かぜ薬は頭痛・鼻水・鼻づまり・くしゃみ・関節の痛み等といった、かぜの諸症状に効きます
- 1歳以上の赤ちゃんから大人まで服用できます
- レモン25個分のビタミンC・ビタミンB₂配合

効能・効果 かぜの諸症状(鼻水、鼻づまり、くしゃみ、のどの痛み、せき、たん、悪寒、発熱、頭痛、関節の痛み、筋肉の痛み)の緩和

用法・用量 次の1回量を1日3回、食後なるべく30分以内に、水と一緒に服用して下さい

年齢	成人(15歳以上)	11～14歳	7～10歳	3～6歳	1～2歳	1歳未満
1回量	1包	2/3包	1/2包	1/3包	1/4包	服用しないこと

残った顆粒を保管する場合、顆粒がこぼれ出ないようにアルミ袋の開け口を3重に折り曲げ、2日以内に服用して下さい

用法及び用量に関連する注意 (1) 用法・用量を厳守して下さい (2) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させて下さい (3) 2歳未満の乳幼児には、医師の診療を受けさせることを優先し、やむを得ない場合にのみ服用させて下さい



使用期限

製造番号

ご使用に際して、この箱の説明書を必ずお読み下さい
また、必要なときに読めるよう大切に保管して下さい

副作用被害救済制度 ☎0120-149-931

販売 日本臓器製薬株式会社 製造 新生薬品工業株式会社
大阪市中央区平野町2-1-2 奈良県高市郡高取町清水台1269

お客様相談窓口 ☎06-6222-0441 受付時間 9:00～17:00(土・日・祝日を除く)



®登録商標

相談することの続き まれに下記の重篤な症状が起こることがあります その場合は直ちに医師の診療を受けて下さい

症状の名称	症 状
ショック(アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、最悪しき、動悸、意識の混濁等があらわれる
皮膚粘膜眼症候群(スティーブンス・ジョンソン症候群)	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚が剥がれ落ち、重症化すると全身がただれ、重症化する
中毒性表皮壊死剥離症、急性汎発性発疹性膿疱症	上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がただれ、重症化する
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる
腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる
間質性肺炎	発熱、発疹、呼吸困難、全身のだるさ、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる
せんそく	発熱、発疹、呼吸困難、全身のだるさ、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる
再生不良性貧血	発熱、発疹、呼吸困難、全身のだるさ、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる
無顆粒球症	発熱、発疹、呼吸困難、全身のだるさ、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる

4

▲使用上の注意してはいけないこと(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなりま
す) 1. 次の人は服用しないで下さい (1) 本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人 (2) 本剤又は他のかぜ薬、解熱鎮痛薬を服用して喘息を起こしたことがある人 2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないで下さい 他のかぜ薬、解熱鎮痛薬、鎮静薬、鎮痙去痰薬、抗ヒスタミン剤を含有する内服薬等 (3. 服用後、眠気等があらわれることがありますので、薬物又は機械類の運転操作をしないで下さい) 4. 授乳中の人は本剤を服用しないか、本剤を服用する場合は授乳をさけて下さい 5. 服用前後は飲酒しないで下さい 6. 長期連用しないで下さい

■相談すること 1. 次の人は服用前に医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい (1) 医師又は歯科医師の治療を受けている人 (2) 妊婦又は妊娠していると思われる人 (3) 高齢者 (4) 薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人 (5) 高熱、排尿困難の症状のある人 (6) 甲状腺機能障害、糖尿病、心臓病、高血圧、肝臓病、腎臓病、胃・十二指腸潰瘍、緑内障の診断を受けた人

【右側面に続きが記載されています】

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消化器	吐き気、嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
泌尿器	排尿困難
その他	過度の体温低下

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この箱を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談して下さい